

学んで実践！

にいがた環境基礎講座 講師・団体紹介

★公開講座★

長岡市役所 鳥獣被害対策専門員 鈴木 曉慈朗 氏

鈴木 曉慈朗さんは埼玉県出身で、鳥獣被害対策のプロフェッショナルになりたいという想いから長岡市へ移住し、県の地域おこし協力隊として、イノシシの捕獲技術や、クマの人身被害防止の講演会の講師などをしながら活動してきた後、現在は長岡市鳥獣被害対策専門員として、鳥獣被害対策の推進のため、栃尾地域を中心にサル・クマ対策をしています。

株式会社北陸ジオテック(係長 樋浦 亮 氏)

株式会社北陸ジオテックは、新潟市が推進する新潟市環境優良事業者等認定制度ONEカンパニーとして認定されています。また、令和7年4月に県内初となる太陽光パネルリサイクル施設を設置し、資源の再利用により環境保護に貢献しています。令和9年で製造が廃止される蛍光灯についても、県初のリサイクル施設となる新潟蛍光灯リサイクルセンターにおいて、有害な水銀を回収し、蛍光灯を構成するガラスや金属部品を分別して適正にリサイクルしています。

★協議会構成員による講義★

新潟大学 理学部 教授 本田 明治 氏

専門は気象学、海洋物理学、雪氷学、気候システム学。気象学、海洋物理学、雪氷学に基づいて、気候システムのメカニズムの解明を目指す研究を行っています。新潟地域の顕著な気象イベントの発生メカニズムについても研究しています。

上越教育大学大学院学校教育研究科 教授 五百川 裕 氏

専門は生物学、自然環境教育（総合学習）。主に共通性・多様性、時間的・空間的な視点から自然事象を捉え、地域の自然環境の実態を明らかにする研究を行っています。また、地域素材を生かした地区理科教育センターの支援にも取り組んでいます。

新潟県地球温暖化防止活動推進センター(センター長 大沢 昌一郎 氏)

新潟県地球温暖化防止活動推進センターでは、地球温暖化防止のため、県や市町村等と連携し、県民、事業者を対象とした普及啓発活動や、研修会・講演会等の講師を行う「新潟県地球温暖化防止活動推進員」の派遣など、様々な活動を行っています。

★NPO団体等活動事例紹介・NPO等、2団体との座談会★

“清流”荒川を考える流域ワークショップ(代表 佐藤 巧 氏)

“清流”荒川を考える流域ワークショップでは、荒川河川敷のゴミ拾いを20年続けているほか、荒川の魅力発見や荒川を楽しむ活動を流域全体で実践するプランづくりや荒川を地域づくりに活用するための流域住民ネットワークを創出する活動を行っています。

与板町ほたるを守る会(会長 坂井 健一 氏)

与板町ほたるを守る会では、ホタルが舞う様子を未来の人々に受け継いで行くためにホタル生息環境の維持と、子供を中心とした与板地域内の人たちへのホタル知識の普及、また地域商店とホタル季節商材の共同開発を行い与板地域外からの集客により町の活性化を図っています。